

いつまでも笑顔・元気で過ごしたい! お口は健康の入り口! 6月4日から10日までは 歯の衛生週間

本年度の歯の衛生週間の標語は『歯みがきは、じょうぶなからだの第一歩』。例えば、皆さんよくご存知の『歯周病』は、歯が抜けるだけでなく、肺炎や糖尿病、動脈硬化、心内膜炎、早産低出生体重児の原因になることもあり、全身の健康に大きな影響を及ぼすことがあります。

乳幼児から高齢者まで、日頃の歯磨きはもちろんのこと健診の機会を利用したり、かかりつけの歯科医師に相談したりするなど、お口の健康を保ち、いつまでも笑顔・元気で過ごしたいですね。

本年度「庄原市歯科衛生連絡協議会」が発足しました。庄原市の歯科保健事業を、歯科医師・歯科衛生士・行政が一体となって進めていきます。

庄原市歯科衛生連絡協議会 発足にあたり



庄原市歯科衛生
連絡協議会会長
牧原 伸夫

平成16年から、庄原、三次、甲奴の三地区の歯科衛生協議会を統合し、合同で広島県北部地区歯科衛生連絡協議会として運営されてき

ましたが、各地区の状況に合わせ、各団体がより密に連携を図るため、本年度から庄原市単独の協議会発足となりました。

当協議会は、県北部保健所、庄原市、庄原市教育委員会、県歯科衛生士三次庄原地区会、庄原市歯科医師会と構成し、会議や研修会と並行して乳幼児の歯科検診相談、保育所・小学校の検診、歯磨き指導、健康福祉まつりでの歯科検診相談、「8020運動」達成者表彰事業などを行います。

「8020運動」は、80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした運動です。歯と口腔（口の中）の健康への関心も高くなり、高齢者の増加も伴って、その達成者も年々増えています。本年度は80歳以上で過去に表彰されていなかった達

成者の方も表彰するよう計画しています。

歯と口腔の健康は、健全な食生活はもちろん、生活習慣病の予防と全身の健康維持増進にも重要な役割を果たします。平成23年3月に「広島県歯と口腔の健康づくり推進条例」が成立し、8月には国の基本法である「歯科口腔保健法」が施行されました。

この中で、口腔の健康確保が全身の健康にとって重要であることが明記され、乳幼児期から高齢期まで、より効果的な歯科保健活動を推進していくという基本理念が示されました。

この理念に基づき、当協議会は地域の皆さまの歯と口腔の健康と福祉の増進に貢献するよう取り組んでいきます。

●平成23年度8020 達成者表彰一覧

(順不同・敬称略)

- 伊藤 盈雄(高町)
- 今永 フジエ(一木町)
- 平山 睦子(是松町)
- 瀬尾 久子(東城町)
- 名越 要(東城町)
- 細川 孝行(西城町)
- 山田 キシコ(西城町)
- 野木 正則(西城町)
- 藤岡 武子(西城町)
- 畑中 英徳(高野町)
- 矢吹 雪子(総領町)
- 宗兼 貞子(総領町)
- 森田 テルエ(総領町)

※秘訣を皆さんに伺ってみたいものです!
素晴らしい!



本年度『庄原市8020達成者表彰事業』を実施します

- 表彰の対象者はつぎのとおりです。
- ①市内に住所を有し、年齢が満80歳の方(本年度は80歳以上で過去に表彰されてない方も対象とします)
 - ②20本以上の歯を有し、市内の歯科医師の口腔審査と推薦を受けていること
- ※過去の表彰者は対象となりません。
※口腔診査は、無料で受けられます。(事前予約が必要です)